

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
		Q 建築物の環境品質				
Q1 室内環境						
1 音環境						
1.1 室内騒音レベル						
1.2 遮音						
1 開口部遮音性能						
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音						
2 温熱環境						
2.1 室温制御						
1 室温						
2 外皮性能						
3 ゾーン別制御性						
2.2 湿度制御						
2.3 空調方式						
3 光・視環境						
3.1 昼光利用						
1 昼光率						
2 方位別開口						
3 昼光利用設備						
3.2 グレア対策						
1 昼光制御						
3.3 照度						
3.4 照明制御						
4 空気質環境						
4.1 発生源対策						
1 化学汚染物質						
4.2 換気						
1 換気量						
2 自然換気性能						
3 取り入れ外気への配慮						
4.3 運用管理						
1 CO ₂ の監視						
2 喫煙の制御						
Q2 サービス性能			0.43			3.2
1 機能性						
1.1 機能性・使いやすさ						
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画						
1.2 心理性・快適性						
1 広さ感・景観						
2 リフレッシュスペース						
3 内装計画						
1.3 維持管理						
1 維持管理に配慮した設計						
2 維持管理用機能の確保						
2 耐用性・信頼性		3.0	0.50			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VP(B)、排水VP(B)、通気VP(A)、Eは不使用。	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			
2.4 信頼性		2.7	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.25			
2 給排水・衛生設備		2.0	0.25			
3 電気設備		3.0	0.25			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.25			
5 通信・情報設備						

3 対応性・更新性			3.4	0.50	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			3.8	0.43	-	-	
1 階高のゆとり		階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			2.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.57	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		天井点検口や配管ラックを設け更新性に配慮。	5.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー			-	-	-	-	-
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化			-	-	-	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.50	-	-	2.9
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓及び節水型便器を採用。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		発泡剤を用いた断熱材等を使用しない。	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.50	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮			2.7	0.50	-	-	2.7
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.50	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		適切な照度及び照度範囲を設定。屋外広告物照明は無し。	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	